

◀ Q & A資料 ▶

イーサポートリンク株式会社

大証ヘラクレス（銘柄コード:2493）

2008年 8月 7日

- イーサポートリンクの事業って、どこのSIベンダーでもできるんじゃないの？ 2
- 業務受託事業って、何らかの実作業を請け負っているの？ 3
- 量販店にとって、イーサポートリンクシステムを活用するメリットは何ですか？ 4
- データ管理において、コードがそれぞれあるのは大変なことなんですか？ 5
- 農地制度や市場法の改正により、何が変わるの？ 6
- イーサポートリンクの「基幹システム」ってどんなものなの？ 7
- 生鮮青果物のトレースってそんなに大変なの？ どこのSIベンダーでもできるんじゃないんですか？ 8
- 「量販店への直接販売を支援」というけど、生産者は、直接、量販店に生鮮青果物を売っているでしょ？ 9
- なぜ、「りんご事業」をはじめたんですか？ 10
- GAP（ギャップ）ってなに？ 11
- XML-EDIって、単なる通信ツールでしょ？ どこのSIベンダーでもやっていることじゃないの？ 12
- XML-EDIは便利なシステムだが、小規模農家などは、コスト負担に耐えられず使わないのでは？ 13

Q: イーサポートリンクの事業って、どこのSIベンダーでもできるんじゃないの？

A: システム事業の競争相手としては、数社のシステム会社とソフトウェア開発業者が考えられます。
しかし、当社のように「システム事業」と「業務受託事業」の両面で事業展開をしている企業は、他にはありません。

システムASP企業
(SIベンダー含む)

- ・ 富士通FIP
- ・ NTTコムウェア
- ・ 三菱電機
- ・ ウルシステムズ



生鮮青果物に特化し、
業務受託(BPO)も*
行っている企業は当社のみ！

生鮮青果物流通

- ・ 市場（卸）
- ・ 仲卸（ベジテック等）
- ・ JA全農
- ・ インフォマート



地域的、部分的に業務を行って
いる企業はあるが、生産者と量
販店を（物流を含め）、システム
ASPで直接結ぶ企業はない！

イーサポートリンク

★ システム事業

「イーサポートリンクシステム」をASP方式
にて提供
一元管理によりトレーサビリティも実現

★ 業務受託事業*

「イーサポートリンクシステム」を使って
受発注から請求まで、お客様になり
代わり、きめ細かな業務受託を行う

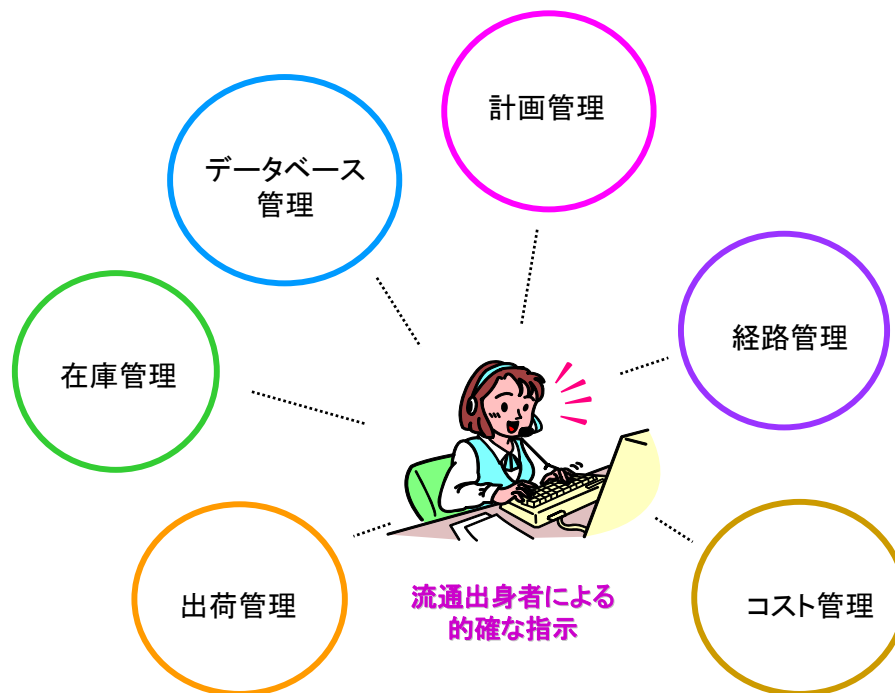
*「イーサポートリンクの最大の強み 業務受託事業『BPO』」参照

Q: 業務受託事業って、何らかの実作業を請け負っているの？

A: 「実作業」を請け負っているではありません。

お客様の情報管理を集中して行い、効率よくオペレーションをまわすための判断と指示を行うことが、当社の役割です。

★ 効率よいオペレーションには、“プロの判断”が必要です！

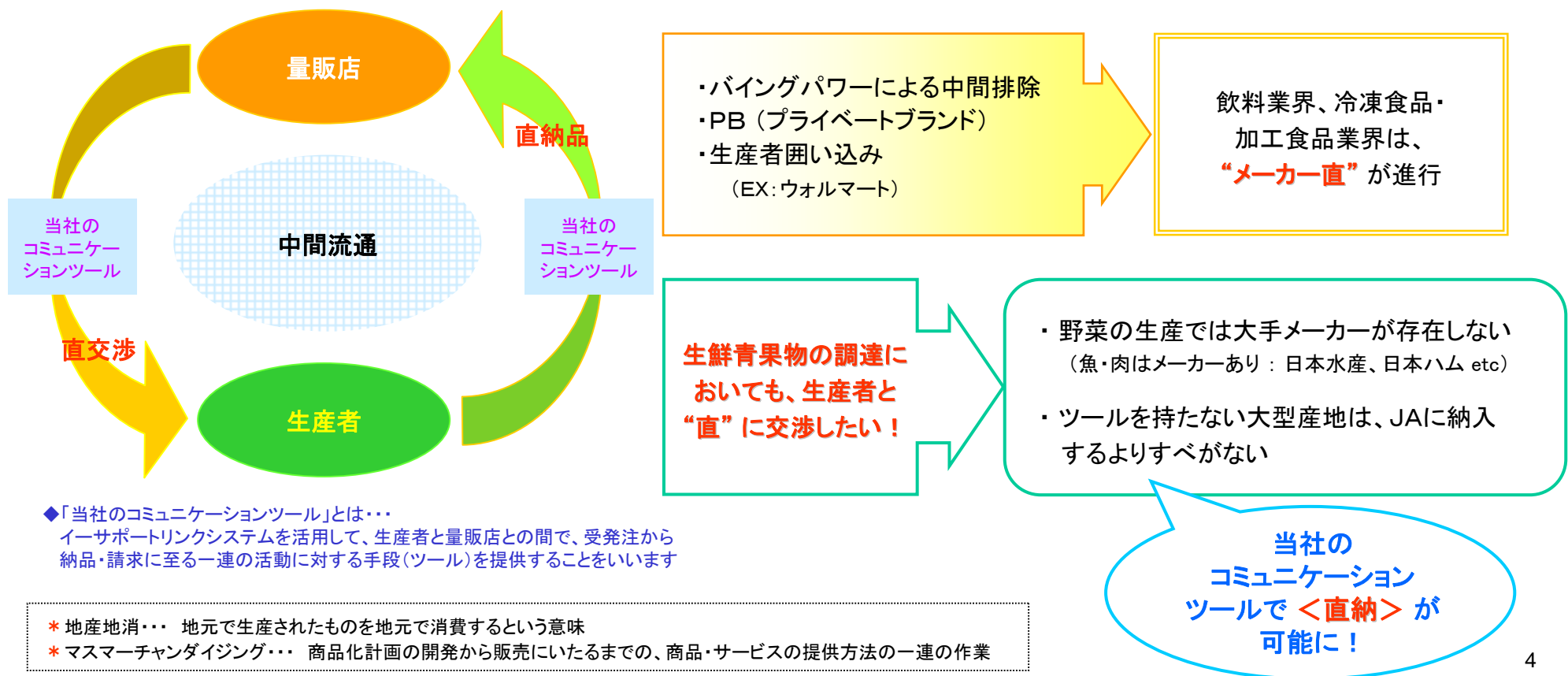


なぜ、イーサポートリンクは
“プロの判断”ができるのか

- 販売計画および実績データは、システム上に整理されており、システムとの対話によって、作業はスムーズに流れます。
- 当社の社員は、流通出身者が多く『現場』を熟知しているため、的確な指示を行うことが可能です！

Q: 量販店にとって、イーサポートリンクシステムを活用するメリットは何ですか？

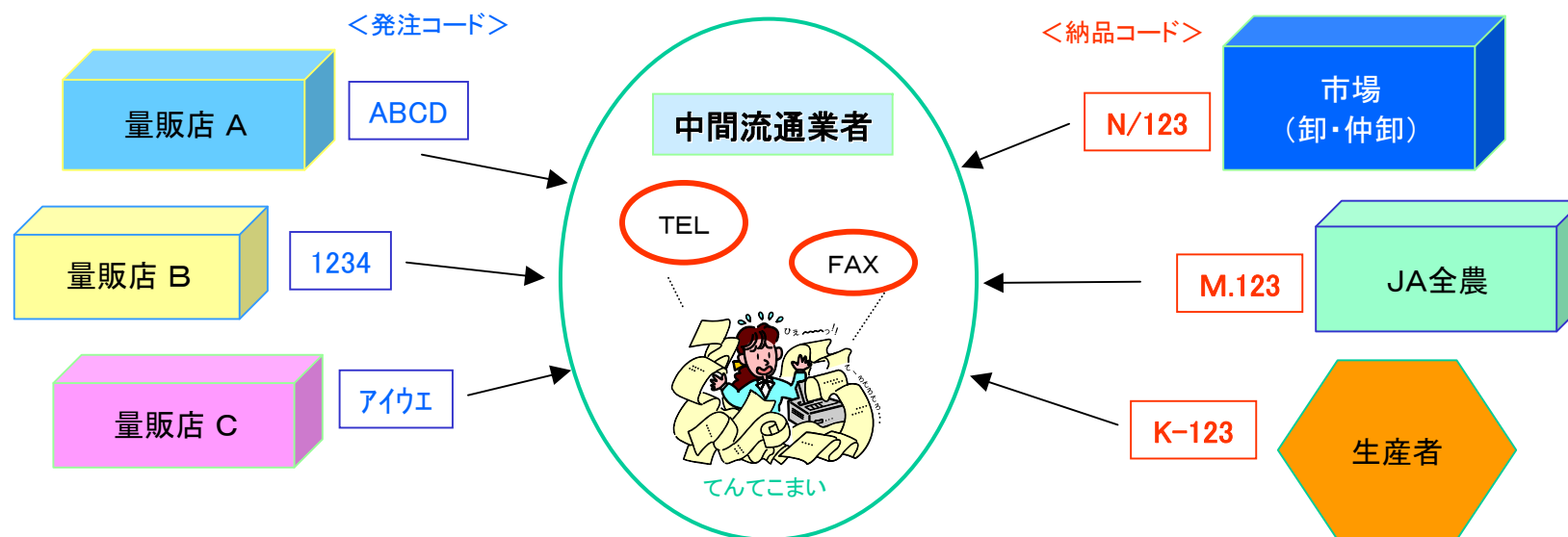
A: 量販店は、生鮮青果物について「^{*}地産地消」や「^{*}マスマーチャンドライジング」を目指しています。しかし、生鮮青果物については、生産者まで情報を遡るのが難しく、十分な成果が上がっていません。当社の「ASP」と「BPO」は量販店と生産者を繋ぐコミュニケーションツールとして活用することができます。そのため、我々のサービスは、一部量販店からは高い評価を得ており、注目されています。



Q: データ管理において、コードがそれぞれあるのは大変なことなんですか？

A: 取引業者毎に「自社コード」で受発注を行うと、中間流通業者がこれらを全て整理しなければなりません。これは、相当なタイムロスと商品のブレ^{*}を招くことになり、トレーサビリティも困難になります。

* 商品のブレ… 発注どおりの品物を納品できない。(産地、サイズ、等級など)



イーサポートリンクは
システムで整理します！



それぞれのコードをイーサポートリンクシステムが
自動変換！
確実なデータ管理により、トレーサビリティも実現！

Q: 農地制度や市場法の改正により、何が変わるの？

A: 「農地制度の改正」で生産者が変わり、「市場法の改正」では市場（卸・仲卸）が変わります。生鮮青果物の、生産から流通までが大幅に変わっていきます。我々は、これをビジネスチャンスの拡大と捉えています。

◆ 従来...

農地の貸し借りが難しい → 所有者＝耕作者

・卸と仲卸が、各々規制の中で取引している
・手数料率にも規定あり

農地制度の改正

農地の借地が可能

大規模生産者(担い手)に集約
法人化も進む

量販店との“直”取り引きが可能

市場法改正

市場手数料の自由化

生産者が市場を選択

市場の集約、卸の直販、仲卸の直買

市場外流通の拡大

※ 改正
2004年 6月
施行
2009年4月

Q: イーサポートリンクの「基幹システム」ってどんなものなの？

A: 工業製品のようにサイズや品質が均一でない生鮮青果物をデータとしてコンピュータでオンライン管理することにより、生鮮青果物流通の「困難」を「可能」に変えたのが、イーサポートリンクの基幹システムです。

< 基幹システムの特徴 >

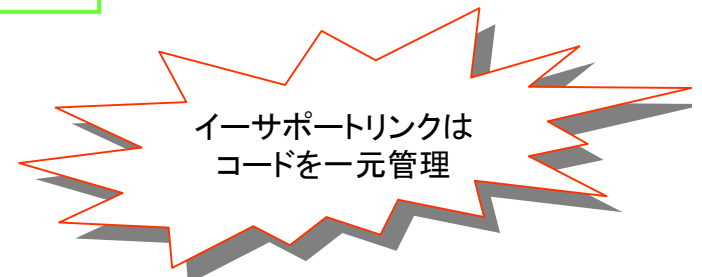
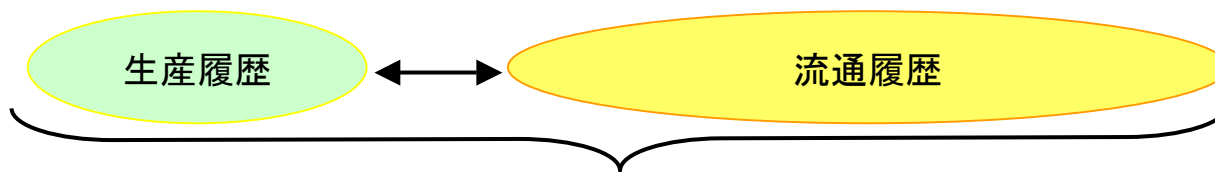
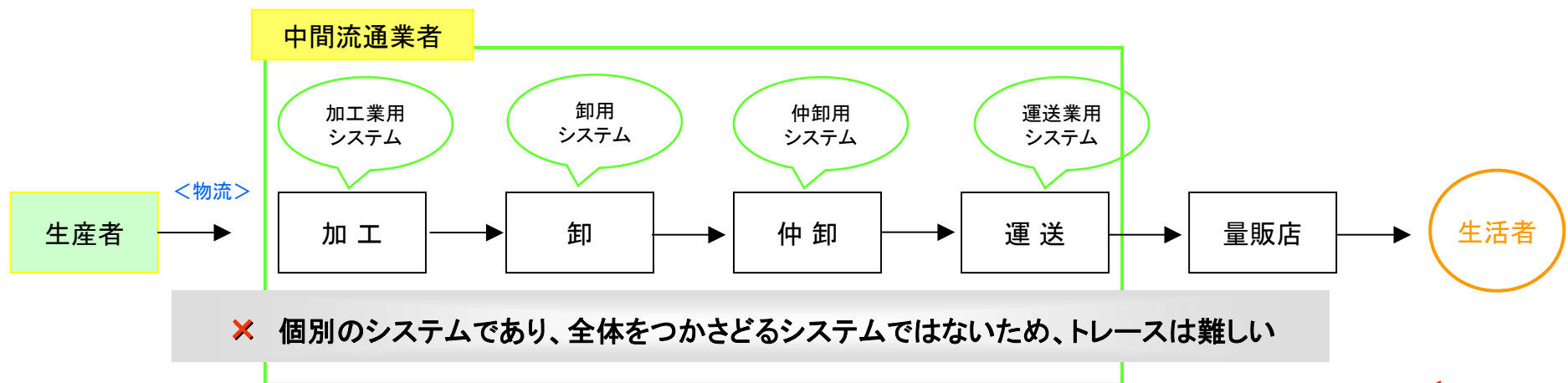
- [商流]・[物流]・[金流] 情報を一括で管理するシステム
- 量販店ごとに異なる商品コードにも対応できるシステム (Q&A資料~P.5参照)
- 生産者から量販店までに生鮮青果物流通全体に必要な機能をサポートする、他に類のないシステム
- 中間流通のトレーサビリティをサポートできるシステム (Q&A資料~P.8参照)
- 日々の在庫状況、商品別損益が見えるシステム

**生鮮青果物流通に特化したイーサポートリンクだからできたのです！
他からの追隨を許さない強さがあります！**

Q: 生鮮青果物のトレースってそんなに大変なの？ どのSIベンダーでもできるんじゃないんですか？

A: 加工品と違い、生鮮青果物のような“生きているもの”において、トレーサビリティを実現させるのは大変なことです。すべての履歴をトレースできるシステムを構築したのはイーサポートリンクだけです。

◆ 他社SIベンダーの場合… 業者毎のシステムは作れているが、【履歴】をとることができていない！



システム構築からトレーサビリティまでを実現させているのはイーサポートリンクだけ！

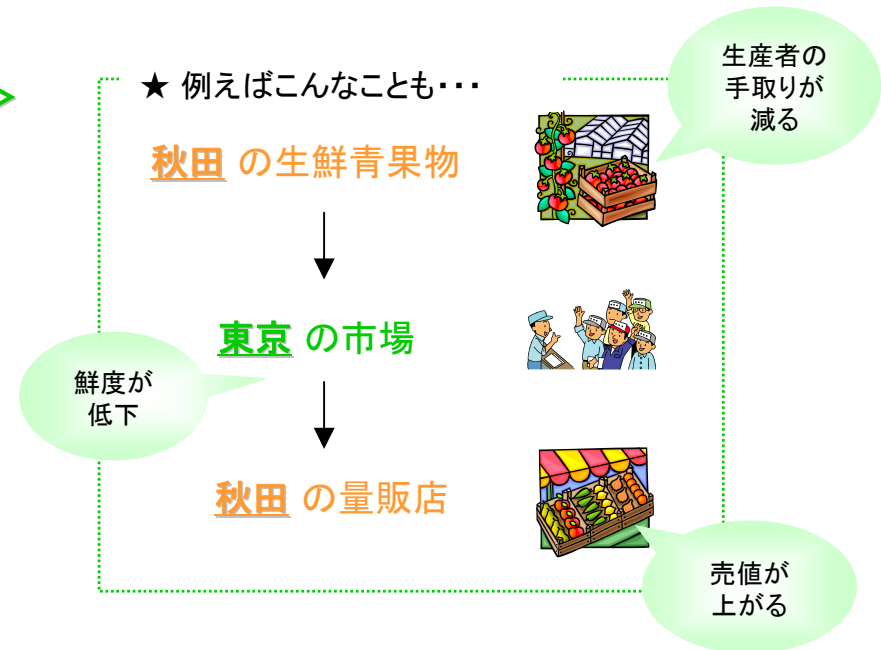
Q: 「量販店への直接販売を支援」というけど、生産者は、直接、量販店に生鮮青果物を売っているでしょ？

A: いいえ。

大半の生鮮青果物は、「市場」を経由して納品されており、直接量販店に納品されることは少ないんです。

<短期間しか出荷できない生産者・生産者団体・JA の現状 >

量販店に、直接販売したいが・・・
 直接販売する「**手立て**」、「**体制**」がない！
 ↓
 市場に出すしかない・・・



イーサポートリンクなら
“直接販売” を支援できます！
 (“直” 取り引き)

「手立て」・・・ **生鮮MDシステム**

「生鮮青果物流通を革新する生鮮MDシステムの取り組み」参照

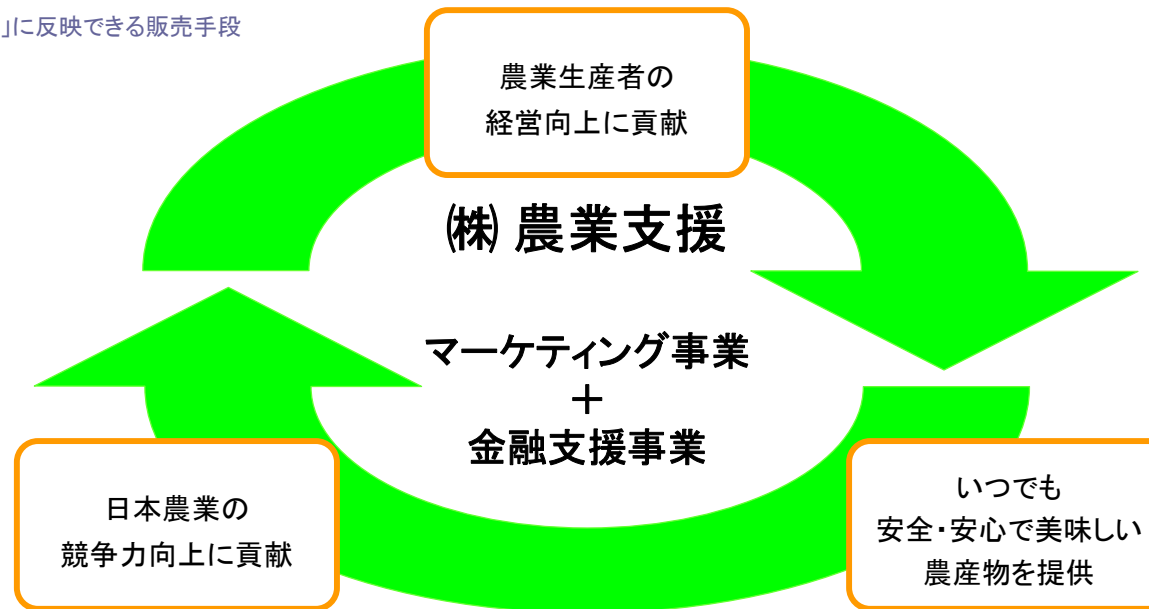
「体制」・・・ **業務受託(BPO)**

「イーサポートリンク最大の強み！業務受託事業『BPO』」参照

Q: なぜ、「りんご事業」をはじめたんですか？

A: 生産者にとっての有利販売をめざしており、子会社：^{*}(株)農業支援におけるマーケティング事業の一種のモデルケースとして、りんご事業を始めました。マーケティング事業や金融支援事業を通じて、生産者の販売を支援していく考えです。

* 生産者の生産努力が「価格」に反映できる販売手段



- ◆「株式会社農業支援」の主要機能
- ・マーケティング、ブランド育成支援
 - ・“シーズン”を越える供給
 - ・量販店への窓口機能
 - ・短期金融支援

**提携農業生産法人を増やし、
安全な農産物を安定的に供給する
ことを実現させる！**

Q: GAP (ギャップ) ってなに？

A: 適正農業規範のことです。生鮮青果物生産の各段階で生産者が守るべき管理基準とその実践のことで、生鮮青果物の安全、環境への配慮、作業者の安全と福祉などの視点から適切な農場管理のありかたについてまとめられたものです。

GAP = Good Agricultural Practice
 (良い) (農業の) (やり方)

★ JGAP (ジェーギャップ) ...

NPO法人日本GAP協会が進める「日本の適正農業規範」およびその認証制度

★ * GLOBAL GAP (グローバルギャップ) ...

2000年に欧州小売業組合が共通化し、作成した適正農業規範およびその認証制度

「GLOBAL GAP」
 を取得していないと
 欧州に輸出するこ
 ができるません

* 2007年9月に「EUREP GAP」から、「GLOBAL GAP」に名称変更

**イーサポートリンクは
 GAPを基準に
 取り組んでいる生産者を
 支援します！**



- ・システム... 「農場物語」 (生産履歴情報管理システム)
- ・販売支援... 「(株) 農業支援」
- ・生産履歴... 「りれき見る.com」

Q: XML-EDIって、単なる通信ツールでしょ？ どのSIベンダーでもやっていることじゃないの？

A: はい。XML-EDIは単なる通信ツールです。イーサポートリンクは、このXML-EDIをベースに『生鮮MDシステム』を構築し、他社SIベンダーとの差別化を図っていきます。

◆ 生鮮青果物は・・・

- ・コード体系が複雑で、属性が多い
- ・追加変更が多い
- ・加工が入り、荷姿が変わる

**XML-EDI だけでは、
生鮮青果物に対応できません！**

<他社SIベンダー>

- ・ 生鮮青果物に対応するノウハウに乏しい
- ・ 構築するまでに時間を要する

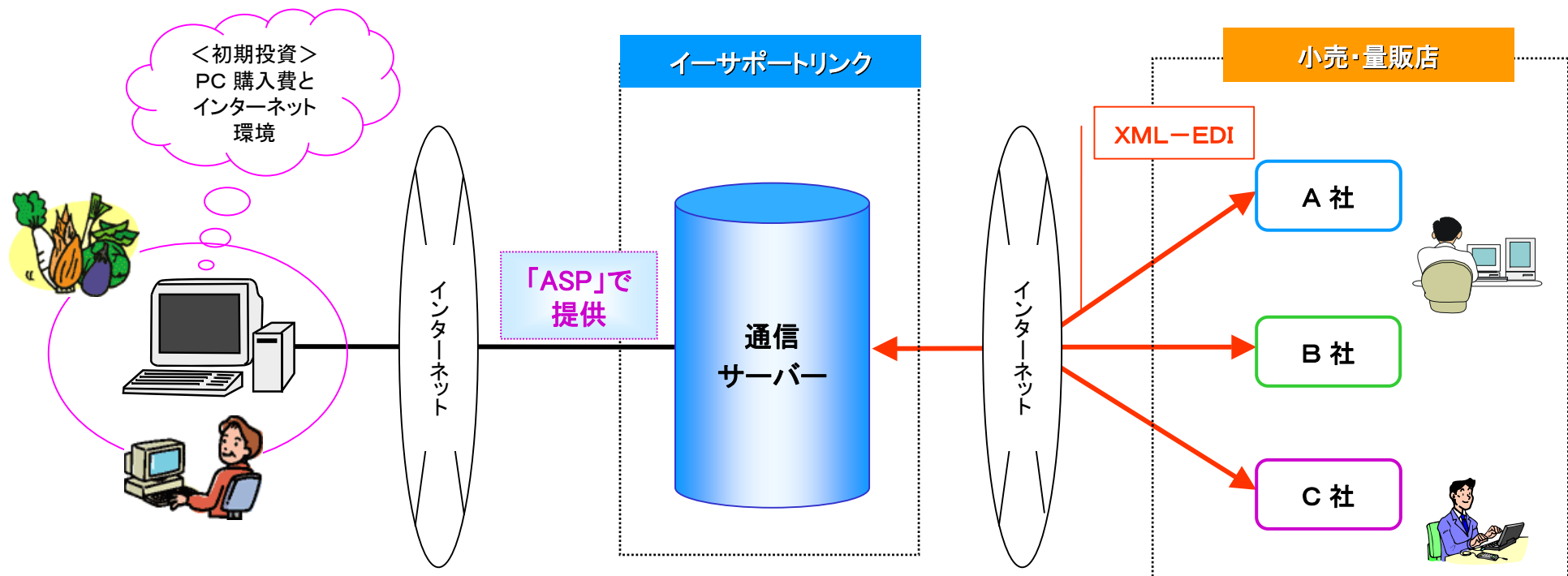
<イーサポートリンク>

- ・ 生鮮青果物流通に必要なシステムを構築できるノウハウがある！
- ・ 付加システムとして、「生鮮MDシステム」を構築！

イーサポートリンクは、XML-EDIのメリットを活かしたシステムを付加！

Q: XML-EDI は便利なシステムだが、小規模農家などは、コスト負担に耐えられず使わないのでは？

A: 従来の通信手段に比べて、ユーザーの費用負担は格段に小さくなります。
 初期投資として、パソコンの購入費とインターネット環境があれば十分です。運用費用は、通信費とサービス提供料（使った分だけの支払い）となります。



イーサポートリンクのXML-EDIサーバーで、多くの小売・量販店とのメッセージ交換が可能！

「生鮮青果物流通を革新する生鮮MDシステムの取り組み」参照

当資料に記載されている内容は、資料作成時点の入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。

予想に内在する様々な不確定要因や外部環境等の変化等により、実際の業績と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

【本件に関するお問い合わせ】

イーサポートリンク株式会社 管理本部 IR担当
TEL: 03-5979-0784 E-mail: IR@e-supportlink.co.jp